

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2013年8月24日）

- 野田村まつり・ねふた運行 -

本日の活動は、野田村まつりへの参加、野田村にあるボランティアセンター事務所の引越し作業、野田村まつりでのねふた運行、のんちゃんねふたの弘前への持ち帰りを予定していました。

参加者は11名の市民の方々に加えて弘前大学の学生が12名、教員1名。学生事務局からは藤田雄大君、高橋開君、中村蓮大君が参加しました。飯先生が参加予定だったのですが、出張帰りで体調を崩されたとのことで不参加。頼もしい飯先生の不参加で少し不安の出発となりました。

晴天の中、いつもよりも遅い12時45分に弘前大学正門を出発。途中、道の駅おりつめのオトデ館でいつも通りに記念撮影を行いました。



道の駅おりつめで記念撮影

予定では野田村到着後、中学校に近い給食センターで数人がバスを降りて事務所の引越し作業を行い、残りの参加者はそのまま野田村まつりへ参加し、その後、事務所の引越し作業をした参加者は作業後に野田村まつりに合流して全員でねふたの運行という計画でした。

ところが野田村到着間際に飯先生から「引越し作業は終了した」との電話。弘前からの参加者のために大阪大学の皆さんが頑張ってくれたようです。ありがたいことです。

予定を変更してバスは直接野田村役場前の駐車場へ。野田村の子供たちがバスに向かって手を振ってお迎えをしてくれました。私は初めてこのようにして

迎えてもらったのですが、とても嬉しく、胸に迫るものがありました。

到着は15時もまわっていましたが、皆さん、早速お祭りに参加。村役場前に設置された舞台では民謡やよさこいの踊りなど、大変賑やかでした。村役場前の通り、そして神社の境内になどに屋台がたくさん出っていて、何を食べようか迷いました。



ステージ前でのよさこいの踊り



写真展が開かれていました。



屋台で賑わう神社前の通り

少しずつ日が傾いてから北明ねふた会の皆さんと合流。少しずつねふた出陣の雰囲気は漂い始めます。お店でねふたを運行すると話すと「のんちゃんも出るの？」と何度も聞かれました。残念ながら、のんちゃんねふたは修理の必要があり出陣できません。来年度は是非出陣させたいです。



ねふたの準備をする北明ねふた会のみなさん

すっかり日が暮れてから役場前の通りを北明ねふた会の皆さんと往復。ねふたが通る度に沿道に人が集まってきます。表情からも私達を温かく迎えてくれているのが分ります。「すごいねえ」という声も聞こえてきます。今回は笛の参加者が3名と少なかったのですが、私以外の2名がとても上手で、野田村の皆さんに良いお囃子を聞いて頂くことができました。

役場前の通りを3往復、そして、最後は役場前の観客席の周りを2周しました。ここでは、野田村の子供たちにもねふたを引いてもらいました。会場のア

ナウンスで弘前への感謝の言葉も頂き、とても良い運行になったと思います。



沿道でねふたを見る野田村のみなさん

ねふた運行の後、ノンちゃんねふたを北明ねふた会のトラックに載せる作業があったのですが、この作業も北明ねふた会の皆さんが次の日に行なってくれることになりました。引っ越し作業もそうでしたが、今回はたくさん助けて頂きました。

野田村出発は 21 時過ぎ。弘前到着時は日付が変わっていました。バスの中での感想には「待ち時間が多くて少し退屈だった」「説明不足」といった意見もありました。野田村まつり参加とねふた運行は無事に上手くいったのですが、今後の課題も明らかになった活動でした。

(担当 小谷田)